

大学番号：061

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

和歌山大学 システム工学部 システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 和歌山大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 企画課長 ミナカタ 南方 ノブユキ 伸之

電話番号 073-457-7059

（夜間） 073-457-7059

F A X 073-457-7020

e-mail kikaku@center.wakayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

システム工学部

<システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 和歌山大学

(2) 大学名

和歌山大学

(3) 大学の位置

〒640-8510
和歌山県和歌山市栄谷930番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タキ ヒロカズ) 瀧 寛和 (平成27年4月)		
理事	(イケギワ ヒロユキ) 池際 博行 (平成25年1月)	(イシヅカ ワタル) 石塚 亙 (平成29年4月)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
	(ヤマダ ヨシハル) 山田 良治 (平成27年4月)	(エンドウ フビト) 遠藤 史 (平成29年4月)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
	(シマムラ トミオ) 島村 富雄 (平成25年1月)	(ヤマガチ ヨシブミ) 山口 良文 (平成28年4月)	辞任のため 平成28年4月1日
	(ゴ カイゲン) 呉 海元 (平成27年4月)		
学部長	(イトウ チヒロ) 伊東 千尋 (平成25年4月)	(ムネモリ ジュン) 宗森 純 (平成29年4月)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
学科長等	—	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合 (平成29年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システム工学部 システム工学科 学士 (工学)	工学関係	4 年	305 人	20 3年次	1260 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	305人 (-) []	人	305人 (-) []	人	305人 (20) [-]	人	人	人	1.00倍	
志願者数	1164 (-) [-]	(-) [-]	1219 (-) [-]	(-) [-]	1152 (89) [-]	(-) [-]	() []	() []		
受験者数	798 (-) []	(-) [-]	858 (-) [-]	(-) [-]	826 (80) [-]	(-) [-]	() []	() []		
合格者数	361 (-) [-]	(-) [-]	346 (-) [-]	(-) [-]	349 (29) [-]	(-) [-]	() []	() []		
B 入学者数	305 (-) [-]	(-) [-]	309 (-) [-]	(-) [-]	306 (23) [-]	(-) [-]	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.01		1.00					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 305	[-] (-)	[-] (-) 309	[-] (-)	[-] (-) 306	[-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[-] (-) 302	[-] (-)	[-] (-) 306	[-] (-)	[] ()	[] ()	
3年次			/		[-] (-) 325	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 305	[-] (-)	[-] (-) 611	[-] (-)	[-] (-) 937	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	305 人	3 人	平成27年度	3 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(3人)	1.0 %
			平成28年度	0 人	- 人		
			平成29年度	0 人	- 人		
平成28年度 入学者	309 人	3 人	平成28年度	3 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(3人)	1.0 %
			平成29年度	0 人	- 人		
平成29年度 入学者	306 人	0 人	平成29年度	0 人	- 人		0 %
合 計	920 人	6 人					0.7 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<システム工学部 システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考
			必修	選択	自由	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
	英語Ⅰ 英語初級Ⅰ	1前	2										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(29)
	英語Ⅱ 英語初級Ⅱ	1後	2										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(29)
	英語Ⅲ 英語中級Ⅰ	2前	2										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(29)
	英語Ⅳ 英語中級Ⅱ	2後	2										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(29)
	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語Ⅰ	1前	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	ドイツ語初級Ⅱ ドイツ語Ⅱ	1後	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	フランス語初級Ⅰ フランス語Ⅰ	1前	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	フランス語初級Ⅱ フランス語Ⅱ	1後	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	中国語初級Ⅰ 中国語Ⅰ	1前	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	中国語初級Ⅱ 中国語Ⅱ	1後	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	ハンガール初級Ⅰ ハンガールⅠ	1前	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	ハンガール初級Ⅱ ハンガールⅡ	1後	4										兼1 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
	日本語Ⅰ	1前	2										兼1
	日本語Ⅱ	1後	2										兼1
	言語学	1・2・3・4前後	2										兼1
	経済学の考え方	1・2・3・4前後	2										兼1
	数学AⅠ	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
	数学AⅡ	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
	哲学	1・2・3・4前後	2										兼1
	国際化時代の文化と思想	1・2・3・4前後	2										兼7 兼6 兼8 授業内容の見直しにより担当教員を変更(27)(29)
	地球学	1・2・3・4前後	2										兼1
	音楽学	1・2・3・4前後	2										兼1 教員の退職に伴う廃止(27)
	宇宙科学	1・2・3・4前後	2										兼5 兼2 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
	考古学	1・2・3・4前後	2										兼1
	食と健康	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
	「いのち」と「かたち」のフィロソフィア	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
	民俗芸能論	1・2・3・4前後	2										兼1
	現代の宗教学	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
	西洋美術史 美術史	1・2・3・4前後	2										兼1 授業内容をより適切に反映した科目名に変更(27)
	心理学概論	1・2・3・4前後	2										兼1
	観光と色彩	1・2・3・4前後	2										兼1
	外国文学	1・2・3・4前後	2										兼3 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
	現代日本の表現	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本古典文学	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
	英語の歴史	1・2・3・4前後	2										兼1
	ことばと文化	1・2・3・4前後	2										兼1
	記憶力と認知力	1・2・3・4前後	2										兼1
	心理学総論	1・2・3・4前後	2										兼1
	人文地理学	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本の文化と国際交流	1・2・3・4前後	2										兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
	教養としての政治学	1・2・3・4前後	2										兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
	国際開発論	1・2・3・4前後	2										兼1

世界の観光・日本の観光	1・2・3・4前後	2				兼1 教員の退職に伴う廃止(27)
歴史学	1・2・3・4前後	2				兼1
JAPAN-STUDY-1	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
ASEANと日本	1・2・3・4前後	2				兼1
JAPAN-STUDY-2	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
社会哲学	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
地域づくり概論	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
企業の仕組み	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29)
日本国憲法	1・2・3・4前後	2				兼1
生活を創る	1・2・3・4前後	2				兼5 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
現代の観光	1・2・3・4前後	2				兼1 教員の退職に伴う廃止(27)
「教養の森」ゼミナール10		2	1			兼5 授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)(28)(29)
「教養の森」ゼミナール8				1		兼6 授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)(28)(29)
「教養の森」ゼミナール6					1	兼4
「教養の森」ゼミナール4						
「教養の森」ゼミナール11		2	1			兼5 授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)(28)(29)
「教養の森」ゼミナール9				1		兼6 授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)(28)(29)
「教養の森」ゼミナール7					1	兼4
「教養の森」ゼミナール5						
21世紀サイエンス論	1・2・3・4前後	2	1	1		兼2
21世紀大学論	1・2・3・4前後	2				兼3
21世紀KUMAGUSU学	1・2・3・4前後	2				兼1
21世紀図書館学	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前後	2				兼1
21世紀文学論	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
21世紀ファッション学	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4前後	2				兼1
21世紀倫理学	1・2・3・4前後	2	1			兼2
観光と地域の活性	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
わかやまを学ぶ	1・2・3・4前後	2	4			兼10 授業内容の見直しにより担当教員を変更(27)(29)
和歌山の歴史と文化	1・2・3・4前後	2				兼5 教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
熊野古道と世界遺産	1・2・3・4前後	2				兼4 教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
キャリアデザインを考える	2前	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
グローバル起業論	1・2・3・4前後	2				兼5 授業内容の見直しにより担当教員を変更(27)
和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4前後	2	1			兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更(27)
教育学概論	1・2・3・4前後	2				兼1
情報通信システムのしくみ	1・2・3・4前後	2	2	4	1	兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
学生生活の危機管理	1・2・3・4前後	2				兼8 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
情報科学入門	1・2・3・4前後	2	5	2	1	兼2 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
教育学総論	1・2・3・4前後	2				兼1
海外留学入門	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
日本事情	1・2・3・4前後	2				兼1
日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1	1・2・3・4前後	2				兼1
大学生の読み書き 大学生の読み書きI	1・2・3・4前後	2				兼3 授業内容の見直しにより科目名を変更(27)
海外語学・社会演習A	1・2・3・4前後	2				兼2
海外語学・社会演習C	1・2・3・4前後	2				兼2
海外語学・社会演習D	1・2・3・4前後	1				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28)
大学生の読み書きII	1・2・3・4前後	2				兼3 教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4前後	2				兼1
日本文化と入門ビジネスジャパニーズ2	1・2・3・4前後	2				兼1

教 養 科 目	海外語学・社会演習B	1・2・3・4前後	2						兼1
	基礎協働演習	1前 1・2・3・4前後	2	2	1				兼2 兼4 兼4 兼6 兼6
	熊野フィールド体験A	1・2・3・4前後	2	1	1				兼4 兼6 兼6 兼6
	ソフツスキル論	1後 1・2・3・4前後	2	1	1				兼2 兼4 兼4 兼4
	わかやま農村技術論 農村の仕事と技術の魅力	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
	地域協働演習	1・2・3・4前後	2	1					兼2 兼3 兼3 兼3
	熊野フィールド体験B	1・2・3・4前後	2	1	1				兼3 兼6 兼6 兼6
	リーダーシップ・チームワーク実習	1・2・3・4前後	2						兼2 兼2
	わかやま海洋環境体験実習	1・2・3・4前後	2						兼3 兼3
	自主演習	1・2・3・4前後	2	33	31	8	9		兼192 兼196 兼185 兼182
	紀州郷土学2C 紀州郷土学2A 紀州郷土学C	1・2・3・4前後	2	29	30	5	11		兼196 兼185 兼182
	高齢化社会の住まいと地域環境	1・2・3・4前後	2						兼4 兼5 兼6 兼6
	地域暮らしの安全学D 地域暮らしの安全学B	1・2・3・4前後	2		3	2	1		兼2 兼5 兼5 兼5
	みんなの科学入門	1・2・3・4前後	2		1	2			兼2 兼5 兼5 兼5
	紀州郷土学2D 紀州郷土学2B 紀州郷土学D	1・2・3・4前後	2		1				兼2 兼5 兼5 兼5
	食と農の経済学	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1
	地域暮らしの安全学C	1・2・3・4前後	2						兼6 兼6
	地域づくり戦略論C 地域づくり戦略論B 地域づくり戦略論A 地域づくり戦略論	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1 兼1
	西ヨーロッパの文学と社会	1・2・3・4前後	2						兼2 兼2
	現代健康・スポーツ論I 現代健康・スポーツ論S	1・2・3・4前後	2						兼2 兼2 兼2
	スポーツ実習Ⅰ	1前	1						兼1 兼1 兼1
	スポーツ実習Ⅱ	1後	1						兼1 兼1 兼1
	体育一般	1前後	1						兼1 兼1 兼1
	社会科学方法論	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
	「学問」と私1	1・2・3・4前後	2		1				兼12 兼12 兼12
	ミュージアムを使う	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
	「学問」と私2	1・2・3・4前後	2						兼1 兼4 兼4 兼4
	ミュージアムを創る	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
	障がい学生支援概論	1・2・3・4前後	2						兼3 兼3 兼3
	日本美術史	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
	国際協力論	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1
	世界遺産から考えるアジアの未来	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1 兼1
21世紀ミュージアム学	1・2・3・4前後	2						兼1 兼1	
熊野スタディーズ	1・2・3・4前後	2						兼2 兼2	

わかやま地域図書館論	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより科目名変更(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
わかやまの先人たち	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(27)
景観と日本人	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
ミュージアムで学ぶ	1・2・3・4前後	2				兼1 博物館学芸員資格科目の開講(27)
自然災害と防災・減災	1・2・3・4前後	2	+	2		兼5 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
博物館資料保存論	1・2・3・4前後	2				兼3 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29) 兼4 博物館学芸員資格科目の開講(27)
博物館資料論	1・2・3・4前後	2				兼3 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29) 兼4 博物館学芸員資格科目の開講(27)
ビジュアルコミュニケーション	1・2・3・4前後	2				兼1 博物館学芸員資格科目の開講(27)
博物館実習Ⅰ	1・2・3・4前後	2				兼3 博物館学芸員資格科目の開講(27)
博物館展示論	1・2・3・4前後	2				兼1 博物館学芸員資格科目の開講(27)
漱石と大阪	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
市民活動の歴史と課題	1・2・3・4前後	2				兼2 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
地域暮らしの健康学A	1・2・3・4前後	2				兼3 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
地図で地域をみる・発信する	1・2・3・4前後	2			+	兼2 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
身の回りのデジタル機器のしくみ	1・2・3・4前後	2		4	+	兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(28) 兼1 教育カリキュラムの変更(27)
ドイツ語中級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
ドイツ語上級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
フランス語中級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
フランス語上級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語中級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語上級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語会話初級Ⅰ	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語会話初級Ⅱ	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語会話中級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国語会話上級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
ハンガール中級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
ハンガール上級	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
数学と暗号	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
教養としての政治学	1・2・3・4前後	2				兼1 隔年 教育カリキュラムの見直しにより開講方法を変更(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
「恋愛映画」を哲学する	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
「恐怖映画」を哲学する	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
中国文化史	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
「教養の森」ゼミナール(古典講読1)	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
わかやま未来学	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
わかやま海洋体験実習	1・2・3・4前後	2				兼5 授業内容の見直しにより担当教員を変更(29) 兼3 教育カリキュラムの変更(28)
海外語学・社会演習F	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの変更(28)
地域協働セミナー	1・2・3・4前後	2		1		兼2 教育カリキュラムの変更(28)
博物館実習Ⅱ	1・2・3・4前後	1				兼3 博物館学芸員資格科目の開講(28)
地域暮らしの健康学B	1・2・3・4前後	2				兼3 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
地域暮らしの健康学C	1・2・3・4前後	2				兼3 教育カリキュラムの見直し(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
マストゥーリズムによる地域活性化	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)
文学テキストで読む社会科学—都市・国家・人間—	1・2・3・4前後	2				兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止(29) 兼1 教育カリキュラムの変更(28)

	英語で読む地域と景観	1-2-3-4前後	2						兼1 教育カリキュラムの見直しにより廃止 (29) 教育カリキュラムの変更(29)
	データで地域を考える-課題発見と活動支援のためのデータ活用-	1-2-3-4前後	2			1			教育カリキュラムの見直しにより廃止 (29) 教育カリキュラムの変更(29)
	論理的思考	1-2-3-4前後	2		1				教育カリキュラムの変更(29)
	ヨーロッパ諸言語概説	1-2-3-4前後	2						兼4 教育カリキュラムの変更(29)
	囲碁から広がる教養の世界	1-2-3-4前後	2						兼3 教育カリキュラムの変更(29)
	「教養の森」ゼミナール (古典講読3)	1-2-3-4前後	2						兼1 教育カリキュラムの変更(29)
	「教養の森」ゼミナール (外書講読1)	1-2-3-4前後	2						兼1 教育カリキュラムの変更(29)
	わかやま未来学A	1-2-3-4前後	2		2				兼7 教育カリキュラムの変更(29)
	わかやま未来学B	1-2-3-4前後	2		2				兼7 教育カリキュラムの変更(29)
	熊野フィールド体験	1-2-3-4前後	2		1	1			兼3 教育カリキュラムの変更(29)
	文化資源と地域再生 (アゴラセミナー I B)	1-2-3-4前後	2						兼5 教育カリキュラムの変更(29)
	熊野郷土学A~郷土学からの地域振興~	1-2-3-4前後	2						兼5 教育カリキュラムの変更(29)
	熊野郷土学B~郷土学からの地域振興~	1-2-3-4前後	2						兼1 教育カリキュラムの変更(29)
	地域暮らしの健康学D~よく生きるための「心のあり方」~	1-2-3-4前後	2						兼5 教育カリキュラムの変更(29)
	地域暮らしの経営学	1-2-3-4前後	2						兼2 教育カリキュラムの変更(29)
	世界農業遺産	1-2-3-4前後	2		1	1			教育カリキュラムの変更(29)
	泉南の自然とその再生: 地形・地質と干潟生物	1-2-3-4前後	2						兼2 教育カリキュラムの変更(29)
	食農地域づくり入門	1-2-3-4前後	2						兼1 教育カリキュラムの変更(29)
	地域課題へのむきあい方	1-2-3-4前後	2						兼3 教育カリキュラムの変更(29)
	プレゼンテーションデザイン入門	2-3-4前後	2						兼5 教育カリキュラムの変更(29)
	地域協働自主演習 I	2-3-4前後	2		2				兼10 教育カリキュラムの変更(29)
	地域協働自主演習 II	2-3-4前後	2		2				兼10 教育カリキュラムの変更(29)
	地域創業論	2-3-4前後	2						兼2 教育カリキュラムの変更(29)
	海外語学・社会演習G	1前後	2						兼1 教育カリキュラムの変更(29)
基 礎 科 目	システム工学入門セミナー	1 前	2		13 10	12 20	3 4	3 4	【全メジャー共通】 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27) (29)
	メジャー紹介講義1	1 前	2		5				
	メジャー紹介講義2	1 前	2		5				
	メジャー体験演習A ☆	1 後	1		2	2			
	メジャー体験演習B ☆	1 後	1		2	2			
	メジャー体験演習C ☆	1 後	1		2	2			
	メジャー体験演習D ☆	1 後	1		2	2			
	メジャー体験演習E ☆	1 後	1		2	2			
	線形代数 1	1 前	2		1	1 4			兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27) 兼2 (28)
	線形代数 2	1 後	2		1				兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27) 兼3
	微積分 1	1 前	2		1	4			兼2 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	微積分 2	1 後	2		1	4			兼2 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	確率統計	1 後	2			1	2		兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) 兼3 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
情報処理 I	1 前	2			3 4	3	1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)	
情報処理 II	1 後	2			3 4	3	1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)	
基礎力学	1 前	2		2		1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)	
基礎電磁気学	1 後	2		2					
基礎化学	1 前	2			2				
【ネットワーク情報学】	ネットワークアーキテクチャ★	2 前	2			1			
	情報理論	2 前	2			1	4		教育課程の見直しにより、社会情報学との共有科目とした (29) 担当教員昇任のため (29)
	ネットワークアプリケーション★	2 後	2			1			
	ネットワーク演習★	2 後	2			2 4			兼2 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
	データベースアーキテクチャ★	2 後	2		1				
	オブジェクト指向プログラミング演習	2 後	2			1			
	ネットワークセキュリティ	3 前	2			1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
無線通信システム	2 後	2		1	4			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)	

インシデントレスポンス演習	3前	1						兼2 教育カリキュラムの変更(29)
Webアプリケーション構築演習	3前	2		1	4			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
ネットワーク情報学演習★	3後	2	2 4	5 3	2			兼3 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
応用解析	2前	2		1	4			【知能情報学】 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
人工知能★	2前	2	4	1	1			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
信号とシステム★	2後	2		1	4			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
アルゴリズム演習II	2後	2		1				
知能ロボット概論	3前	2		1				
パターン認識演習	3前	2		1				
ビジュアル情報演習	3前	2	1	1 2				担当教員の昇任のため (29)
知能システム演習	3後	2	4	1	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
ビジュアル情報論★	2後 3後	2	1	4				教育課程の見直しにより配当年次を変更 (27) 担当教員の昇任のため (29)
知能情報学演習★	3後	2	4 5	2 3	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
機械設計★	2前	2		1	1			【機械電子制御】
材料力学★	2前	2			1			
熱力学	2後	2			1			
流体力学★	2後	2			1			
機械力学★	2後	2	1	4				授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
コンピュータ工学	2後	2			1			
制御工学	3前	2	1	4				授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
システム工学	3前	2			1			
アクチュエータ工学	3前	2	1					
機械電子制御実験★	3前	2		4	1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
ロボット工学	3後	2			1			
ロボットビジョン	3後	2			2			
組込みシステム	3後	2				1		
制御系設計	3後	2	1	4	1			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
機械電子制御研究実習★	3後	2	2 4	3 4	3	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
デジタル回路	2前	2			1			【電子計測】
電磁気学★	2後	2		1				
電磁気学演習	2後	1			4	1	1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
光学★	2後	2		1				
計測とセンサ★	2後	2		1				
電子回路I	3前	2			1			
電磁波工学	3前	2		1				
アナログ信号処理	3前	2		1				
計測システム実験A★	3前	2	1	4		2		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
電子回路II	3後	2			4	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
光エレクトロニクス	3後	2			4	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
デジタル信号処理	3後	2		1				
計測システム	3後	2			1 2			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
計測システム実験B★	3後	2			1 2	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
電子計測研究実習★	3後	2	1	1		1		
有機化学I	2前	2			1			【化学】
無機化学I	2前	2		1				
分析化学I	2前	2		1	4			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
基礎化学実験★	2前	2		1	2 3			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)

	基礎生命科学	2前	2		1				教育カリキュラムの変更(29)
	有機化学II	2後	2		1				
	分析化学II	2後	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	構造解析	2後	2		1				
	構造化学	2後	2	1					
	生命科学	2後	2		1				教育カリキュラムの変更(29)
	化学演習★	2後	1		5 4 2				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28) (29)
	有機理論化学	3前	2		1				
	無機化学II	3前	2	1					
	高分子化学	3後 3前 3前	2	1					教育課程の見直しにより配当年次を変更(29)
	生物有機化学	3前 3後	2	1					教育課程の見直しにより配当年次を変更(29)
	有機合成化学	3後	2		1				
	有機材料化学	3後	2		1				
	工業分析化学	3後	2		1				
	化学特論★	3後	2	3 2	5				授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
	応用化学実験★	3後	2	3 2	5				授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
									【応用物理学】
	力学★	2前	2		1				
	物性電磁気学I★	2前	2		1				
	物理数学	2前	2		1				
	物理学実験★	2前	2	1	4 5	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更(28) 担当教員の昇任のため(29)
	物性電磁気学II	2後	2	1	1				担当教員の昇任のため(29)
	量子力学I★	2後	2	1					
	固体物理学	2後	2		1				
	物理学演習★	2後	1		4 1	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更(28) 担当教員の昇任のため(29)
	量子力学II	3前	2	1					
	統計力学	3前	2	1					
	半導体工学	3前	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28) (29)
	機能デバイス材料論	3後	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
	光電子物性論	3後	2		1				
	ナノ結晶工学	3後	2		1				
	応用物理学特論★	3後	2	4 3	4 5	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
	応用物理学実験★	3後	2	4 3	4 5	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
									【環境デザイン】
	環境デザイン論	2前	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	建築概説★	2前	2		1			兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	生活環境システム	2前	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	森林環境学	2後	2	1					
	構造学★	2後	2	1					
	住環境設計製図☆	2後	2	2	3 2 3			兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更(28) (29)
	構造計画	2後	2	1					
	建築計画	2後	2	1	1				担当教員の変更(29)
	地域環境管理	2後	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	緑地環境学	3前	2	1					
	都市デザイン	3前	2		1				担当教員の変更(29)
	生態環境実験実習☆	3前	2	3	1		1		
	生活環境設計製図☆	3前	3	2	2 3				授業内容の見直しにより担当教員を変更(29)
	循環システム工学	3前	2	1	1				授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
	建築・環境法規	3後	2	1	1			兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更(28)
メ ジ ャ ー 科 目									

都市環境設計製図☆	3後	2	1 2	3 2 3			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
環境デザイン演習A	3後	2	4	3 5			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
建設マネジメント	4前	2	1	3			
建築設備	4前	2					兼1
建築デザイン演習B	4前	2	4	5			
【環境科学】							
環境数理B	2前	2	1	2		1 4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
地球科学★	2前	2	1				
水土環境実験実習☆	2前	2	3 2 3		1	1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
環境情報演習☆	2後	2	3	2 3 2		4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
地球環境化学	2後	2	1				
都市環境計画	2後	2	1				
構造力学★	2後	2					兼1
防災工学	2後	2	1			1	兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
地域環境解析演習☆	3前	2	1	1 3 2		1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
水土環境工学	3前	2	1				
水理学	3前	2	1			1	
産業エコロジー工学	3前	2	1				
構造材料実験実習☆	3後	2					兼1
地盤工学	3後	2	1			1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
環境経済・政策学	3後	2		1			兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
リスクマネジメント	3後	2	2 4	1 2		1	兼2 兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
環境科学演習	3後	2	3	3		2 4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
環境緑化法	4前	2	1	1			兼1 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
【社会情報学】							
情報システム基盤技術★	2前	2	3 4	2		1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
インターネット技術★	2前	2	1				
プログラム設計技法	2前	2		2 4		4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
プログラミング言語★	2後	2	1				
HCIデザイン★	2後	2			1		
情報システム開発演習☆	2後	2	1 2			1	教員の定年退職による (29)
基礎情報工学	2後	2	1				担当教員の変更に伴い未開講 (29)
社会情報学セミナーI★	3前	2	3	3 2		1 2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
データマイニング	3前	2	1				
実践的システム開発演習	3前	2		2			教育カリキュラムの変更(29)
システム要求分析・評価法★	3後	2	1				
社会情報学セミナーII★	3後	2	3	3 2		1 2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
知能情報論	3後	2					兼1
アルゴリズム設計	3後	2		1			
経営と情報	3後	2					兼1 教育カリキュラムの変更(29)
システム設計情報論	4前	2					兼1
モバイルシステム技術論	4前	2	1				
【メディアデザイン】							
メディア情報数理★	2前	2	1				
デザイン制作☆	2前	2	1			1	
デザイン基礎概論★	2前	2	1		1	1	
デザイン企画論★	2後	2	1				
図形数理★	2後	2	1	4			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
サウンドプログラミング演習☆	2後	1	1			1	
CG制作演習☆	2後	1		1			
デザイン表現演習☆	2後	1			1	1	

人間工学	2後	2					1 4	兼1 兼2 兼4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
イメージ情報処理★	3前	2			1				
メディアデザインセミナーI★	3前	2		3 2	2 3	1	3		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
メディアデザインセミナーII★	3後	2		3 2	2 3	1	2		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
インテリアデザイン論	3後	2				1			
コンピュータグラフィックス★	3後	2			1				
ユーザエクスペリエンスデザイン	3後	2		1			1	兼4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
コンピュータビジョン	4前	2			1				
音響設計論	4前	2		1					
CAD演習☆	4前	1				1			
【ネットワーク情報学・知能情報学】									
データ構造とアルゴリズム★	2前	2		1					
計算機システム★	2前	2			1				
アルゴリズム演習I★	2前	2		2	4 3	4		兼2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
離散数学★	2前	2		1					
論理回路★ (社会情報学のみ選択科目)	2前	2		1					教育課程の見直しにより、社会情報学との共有科目とした (29)
システムソフトウェア★	2後	2		1					
情報システム実験★	3前	2		1	1 2		1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
【機械電子制御・電子計測】									
複素解析★	2前	2		1	4				授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
複素解析演習	2前	1		4	4	1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
微分・ベクトル解析★	2前	2		4		1			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
微分・ベクトル解析演習	2前	1			4	1	1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
情報処理応用	2前	2		4	4	1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
フーリエ解析★	2後	2			1				
電気回路★	2後	2		1					
電気回路演習	2後	1		4	4	1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
【化学・応用物理学】									
物理化学I★	2前	2			1				
物理化学II	2後	2			1				
マテリアル科学実験★	3前	2		2 4	7	1	4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
科学技術英語B	4前	2		5	10		1		
【環境デザイン・環境科学】									
環境数理A (環境科学のみ★)	2前	2		1	2 4		4		
環境システム基礎製図★	2前	3		1 2	3 2 3			兼4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28) (29)
ランドスケープ・エコロジー★	2前	2			1				
地域環境システム	2前	2			1				
環境カルテ演習☆	2後	2		3 4	1 3			兼4	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
環境計測評価法I (環境デザインのみ★)	3前	2			4			兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
環境計測評価法II (環境デザインのみ☆)	3後	2			1 2		1		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
【社会情報学・メディアデザイン】									
ウェブデザイン演習☆	2前	2			3 2		1 2		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (28)
デザイン情報総合演習☆	3前	2			4 2	1	4 3		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
ヒューマンインタフェース	3前	2					1	兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
科学技術英語A	3後	2			1				
【知能情報学・メディアデザイン】									
データ解析★ (知能情報学のみ★)	2前	2		1					教育課程の見直しにより必修とするメジャーを変更 (27)
【社会情報学・ネットワーク情報学】									
ソフトウェアエンジニアリング★ (社会情報学のみ★)	3前	2		1	1				教育課程の見直しにより必修とするメジャーを変更 (27)
ソフトウェアエンジニアリング演習 (社会情報学のみ☆)	3後	2			3 2		4		授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)

専門 選択 科目	現代システム工学概論Ⅰ	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2			2 +	1			【インキュベーションユニット他】 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	現代システム工学概論Ⅱ	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2			2 +	1			授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	災害情報学	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2			2 +	7 +	1	1	兼2 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	経営学	2・3前・後	2							兼1
	経営戦略論 ビジネスシステム論	2・3前・後	2							兼1 授業内容の見直しにより科目名を変更 (28)
	技術者倫理	3前	2			1	2			授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	地域データ活用法	2前	2				1			教育カリキュラムの変更 (29)
教員 免許 科目	物理学概論A	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼4 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 兼3 (29) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	物理学概論B	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼3 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 兼2 (29) 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (29)
	化学概論A	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	化学概論B	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	生物学概論A	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	生物学概論B	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	地学概論A	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	地学概論B	2後～4後 3前→後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) (29)
	物理学実験A	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	物理学実験B	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	化学実験A	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)
	化学実験B	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	生物学実験A	2後～4後	2							兼4 教育カリキュラムの変更 (29)
	生物学実験B	2後～4後	2							兼4 教育カリキュラムの変更 (29)
	地学実験	2後～4後	2							兼3 教育カリキュラムの変更 (29)
	現代教職論S	2後～4後	2					1		教育カリキュラムの変更 (29)
	教育学概説S	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)
	教育心理学S	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)
	教育制度と社会	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)
	中等教育の課程と方法	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	中等理科教育法A	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	中等理科教育法B	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	中等理科教育法C	2後～4後	2							兼2 教育カリキュラムの変更 (29)
	道徳教育論A	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)
特別活動・教育外活動論	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)	
生徒の理解と指導	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)	
教育相談の基礎と方法 (中等)	2後～4後	2							兼1 教育カリキュラムの変更 (29)	
	システム工学自主演習Ⅰ	1前 1-2-3-4 前→後	1			33 29	30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅱ	1後 1-2-3-4 前→後	1			33 29	31 30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)

自由 選択 科目	システム工学自主演習Ⅲ	2前 1,2,3,4 前・後	1		33 29	31 30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅳ	2後 1,2,3,4 前・後	1		33 29	31 30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅴ	3前 1,2,3,4 前・後	1		33 29	31 30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅵ	3後 1,2,3,4 前・後	1		33 29	31 30 32 36	8 5 3 4	9 11 13 10	異動による教員数の変更 (28) (29) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ	1,2,3,4前・後 1,2,3,4前・後	2 2		10 10				
卒業 研究	4通	8		33 29				教員数の変化により変更 (27)	

科目名の後ろの★は必修、☆は選択必修を表す。

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況					備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計		
科目 11	科目 326	科目 1	科目 338	科目 11	科目 358	科目 1	科目 370		
				[0]	[32]	[0]	[32]		

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	基礎情報工学	2	2後	専門	選択	担当教員の変更に伴い平成29年度は未開講

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	外国文学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
2	日本古典文学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
3	日本の文化と国際交流	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
4	JAPAN STUDY1	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
5	地域づくり概論	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
6	企業の仕組み	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
7	わかやま農村技術論	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
8	現代健康・スポーツ論L	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
9	日本美術史	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
10	世界遺産から考えるアジアの未来	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
11	マスツーリズムによる地域活性化	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
12	文学テキストで読む社会科学—都市・国家・人間	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
13	英語で読む地域と景観	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止
14	データで地域を考える—課題発見と活動支援のためのデータ活用—	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養科目の見直しや担当教員の変更により廃止・未開講となった科目もあるが、同時に科目の新設等も行っているため、教育の質は担保していると考えます。学生への周知については、時間割表や履修手引をはじめ教務システム(LiveCampus)等により周知徹底している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	139,386 m ²	0 m ²	0 m ²	139,386 m ²				
	運動場用地	44,480 m ²	0 m ²	0 m ²	44,480 m ²				
	小 計	183,866 m ²	0 m ²	0 m ²	183,866 m ²				
	そ の 他	230,722 m ²	0 m ²	0 m ²	230,722 m ²				
	合 計	414,588 m ²	0 m ²	0 m ²	414,588 m ²				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		78,550 m ² (78,550 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	78,550 m ² (78,550 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	52 室	44 室	100 室	9 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		学部全体			
	システム工学部			81 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	システム工学部	754,093 [208,692] (742,253 [205,825])	7,149 [2,287] (7,101 [2,275])	1,898 [1,888] (2,017 [1,970])	9,038 (8,778)	0	0		
	計	754,093 [208,692] (742,253 [205,825])	7,149 [2,287] (7,101 [2,275])	1,898 [1,888] (2,017 [1,970])	9,038 (8,778)	0	0		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,741 m ²		777		1,029,833				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,263 m ²		陸上競技場1面		テニスコート14面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和歌山大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部								和歌山市栄谷930	
学校教育教員養成課程	4	165	—	620	学士(教育学)	1.03	昭和24年度		
総合教育課程	4	—	—	—	学士(教養学)	—	平成11年度 平成20年度		平成28年度より学生募集停止
経済学部			3年次					和歌山市栄谷930	
経済学科	4	300	10	600	学士(経済学)	1.07	昭和24年度 昭和39年度		
ビジネスマネジメント学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成4年度		平成28年度より学生募集停止
市場環境学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成8年度		
システム工学部			3年次					和歌山市栄谷930	
システム工学科	4	305	20	935	学士(工学)	1.01	平成7年度 平成27年度		
情報通信システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		平成27年度より学生募集停止
光エレクトロニクス学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
精密物質学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
環境システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
デザイン情報学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
観光学部								和歌山市栄谷930	
観光学科	4	120	—	240	学士(観光学)	1.05	平成20年度 平成28年度		
観光経営学科	4	—	—	—	学士(観光学)	—	平成20年度		平成28年度より学生募集停止
地域再生学科	4	—	—	—	学士(観光学)	—	平成20年度		
教育学研究科 (修士課程)								和歌山市栄谷930	
学校教育専攻	2	30	—	60	修士(教育学)	0.98	平成5年度		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
(専門職学位課程) 教職開発専攻	2	15	—	30	教職修士(専門職)	0.96	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								和歌山市栄谷930	
経済学専攻	2	15	—	30	修士(経済学)	0.99	昭和41年度 昭和43年度		
経営学専攻	2	13	—	26	修士(経済学)	0.80	昭和43年度		
市場環境学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	0.75	平成11年度		
システム工学研究科 (博士前期課程)								和歌山市栄谷930	
システム工学専攻	2	129	—	258	修士(工学)	1.12	平成12年度		
(博士後期課程) システム工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	1.24	平成14年度		
観光学研究科 (博士前期課程)								和歌山市栄谷930	
観光学専攻	2	9	—	18	修士(観光学)	1.33	平成23年度		
(博士後期課程) 観光学専攻	3	6	—	18	博士(観光学)	1.27	平成26年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<システム工学部 システム工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画						変更状況						備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	年齢	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	年齢	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	宮本 伸一		平成27年4月	無線通信システム ネットワーク情報学演習 信号とシステム							
専任	教授	中嶋 秀朗		平成27年4月	機械設計 アクチュエータ工学							
専任	教授	久保 雅弘		平成27年4月	応用解析 線形代数 1 線形代数 2							
専任	教授	中村 恭之		平成27年4月	知能ロボット概論 知能情報学演習 論理回路							
専任	教授	矢嶋 慎子		平成27年4月	分析化学 I 基礎化学実験 分析化学 II 化学特論 応用化学実験 科学技術英語 B							
専任	教授	今井 敏行		平成27年4月	図形整理 メディアデザインセミナー I メディアデザインセミナー II							
専任	教授	橋本 正人		平成27年4月	無機化学 I 構造化学 無機化学 II 化学特論 応用化学実験 科学技術英語 B							
専任	教授	入野 俊夫		平成27年4月	メディア情報数理 サウンドプログラミング演習 メディアデザインセミナー I メディアデザインセミナー II							
専任	教授	金子 泰純		平成27年4月	地域環境管理 循環システム工学 環境デザイン演習 A 環境デザイン演習 B 環境カルテ演習							
専任	教授	伊東 千尋		平成27年4月	量子力学 II 統計力学 応用物理学特論 応用物理学実験 科学技術英語 B							
専任	教授	高砂 正弘		平成27年4月	構造学 住環境設計製図 構造計画 生活環境設計製図 都市環境設計製図 環境デザイン演習 A 環境デザイン演習 B 環境システム基礎製図							
専任	教授	長瀬 賢二		平成27年4月	機械力学 制御工学 機械電子制御実験 情報処理応用							
専任	教授	坂本 英文		平成27年4月	高分子化学 生物有機化学 化学特論 応用化学実験 B 科学技術英語 B							
専任	教授	風間 一洋		平成27年4月	データベースアーキテクチャ ネットワーク情報学演習 アルゴリズム演習 I							
専任	教授	鯉坂 恒夫		平成27年4月	プログラミング言語 社会情報学セミナー I 社会情報学セミナー II ソフトウェアエンジニアリング							
専任	教授	和田 俊和		平成27年4月	パターン認識演習 知能情報学演習 データ構造とアルゴリズム アルゴリズム演習 I システムソフトウェア							
専任	教授	篠塚 雄三		平成27年4月	量子力学 I 応用物理学特論 応用物理学実験 科学技術英語 B							

専任	教授	宗森 純	平成27年4月	情報システム基盤技術 基礎情報工学 社会情報学セミナーⅠ システム要求分析・評価法 社会情報学セミナーⅡ							
専任	教授	吉野 孝	平成27年4月	インターネット技術 情報システム開発演習 社会情報学セミナーⅠ デザイン 社会情報学セミナーⅡ モバイルシステム技術論							
専任	教授	松本 正行	平成27年4月	電磁波工学 計測システム実験A 電子計測研究実習 電気回路 電気回路演習							
専任	教授	養父 志乃夫	平成27年4月	緑地環境学 生態環境実験実習							
専任	教授	吉田 登	平成27年4月	環境情報演習 都市環境計画 地域環境解析演習 産業エコロジー工学 環境科学演習 環境数理A 環境カルテ演習							
専任	教授	坂間 千秋	平成27年4月	知能情報学演習演習 離散数学							
専任	教授	足立 啓	平成27年4月	建築計画							平成28年3月定年退職 平成28年度は、兼任として「建築計画」を担当(28) 担当していた科目は、他に担当できる教員がいるため、支障はない。
専任	教授	井伊 博行	平成27年4月	生態環境実験実習 地球科学 水士環境実験実習 環境情報演習 地球環境科学 地域環境解析演習 環境科学演習							
専任	教授	中島 敦司	平成27年4月	森林環境学 生態環境実験実習 環境デザイン演習A 環境デザイン演習B 水士環境実験実習							
専任	教授	江種 伸之	平成27年4月	環境数理B 環境情報演習 防災工学 地域環境解析演習 水士環境工学 水理学 地盤工学 環境科学演習							
専任	教授	土谷 茂樹	平成27年4月	電磁気学 計測とセンサ アナログ信号処理							
専任	教授	原田 利宣	平成27年4月	デザイン制作 デザイン基礎概論 デザイン企画論 メディアデザインセミナーⅠ メディアデザインセミナーⅡ							
専任	教授	島田 哲夫	平成27年4月	情報システム開発演習							平成29年3月定年退職(29) 担当していた科目は、他に担当できる教員がいるため、支障はない。
専任	教授	田中 一郎	平成27年4月	半導体工学 応用物理学特論 応用物理学実験 科学技術英語B							
専任	教授	木田 浩嗣	平成27年4月	物理学実験 物性電磁気学Ⅱ 機能デバイス材料論 応用物理学特論 応用物理学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語B							
専任	教授	野村 孝徳	平成27年4月	光学 デジタル信号処理							
専任	准教授	村川 猛彦	平成27年4月	ネットワーク演習 ネットワークセキュリティ ネットワーク情報学演習 アルゴリズム演習Ⅰ							
専任	准教授	大平 雅雄	平成27年4月	オブジェクト指向プログラミング演習 Webアプリケーション構築演習 ネットワーク情報学演習 アルゴリズム演習Ⅰ ソフトウェアエンジニアリング ソフトウェアエンジニアリング演習							

専任	准教授	原 祐二	平成27年4月	生態環境実験実習 水環境実験実習 環境情報演習 地域環境解析演習 環境科学演習 ランドスケープ・エコロジー 環境計測評価法Ⅱ								
専任	准教授	山門 英雄	平成27年4月	物理学実験 物理学演習 応用物理学特論 応用物理学実験 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ マテリアル科学実験 科学技術英語B								
専任	准教授	奥野 恒久	平成27年4月	構造解析 化学演習 有機材料化学 化学特論 応用化学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語B								
専任	准教授	床井 浩平	平成27年4月	CG制作演習 メディアデザインセミナーⅠ メディアデザインセミナーⅡ コンピュータグラフィックス デザイン情報総合演習								
専任	准教授	平田 隆行	平成27年4月	環境デザイン論 住環境設計製図 生活環境設計製図 都市環境設計製図 環境デザイン演習A 建設マネジメント 環境デザイン演習B 環境システム基礎製図								
専任	准教授	吉廣 卓哉	平成27年4月	ネットワークアプリケーション ネットワーク情報学演習 アルゴリズム演習Ⅰ 情報システム実験								
専任	准教授	山本 秀一	平成27年4月	環境情報演習 地域環境解析演習 環境科学演習 環境数理A								
専任	准教授	塚田 晃司	平成27年4月	ネットワークアーキテクチャ ネットワーク演習 ネットワーク情報学演習 計算機システム								
専任	准教授	岩崎 慶	平成27年4月	アルゴリズム演習Ⅱ ビジュアル情報演習 知能情報学演習								
専任	准教授	尾崎 信彦	平成27年4月	力学 物理学実験 物理学演習 ナノ結晶光学 応用物理学特論 応用物理学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語B								
専任	准教授	曾我 真人	平成27年4月	HCIデザイン 社会情報学セミナーⅠ 社会情報学セミナーⅡ ウェブデザイン演習 デザイン情報総合演習 科学技術英語A								
専任	准教授	宮川 智子	平成27年4月	環境デザイン論 生活環境システム 住環境設計製図 生活環境設計製図 環境デザイン演習A 環境デザイン演習B 環境カルテ演習		教授						平成28年4月教授に昇進(28)
専任	准教授	中原 佳夫	平成27年4月	基礎化学実験 化学演習 工業分析化学 化学特論 応用化学実験 科学技術英語B								
専任	准教授	秋元 郁子	平成27年4月	物理数学 物理学実験 物理学実習 光電子物性論 応用物理学特論 応用物理学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語B								
専任	准教授	葛岡 成晃	平成27年4月	情報理論 ネットワーク情報学演習								

専任	准教授	天野 敏之	平成27年4月	ビジュアル情報演習 ビジュアル情報論 知能情報学演習 情報システム実験		教授						平成29年4月教授に昇進 (29)
専任	准教授	小川原 光一	平成27年4月	ロボットビジョン 電子回路 I フーリエ解析								
専任	准教授	小川 宏樹	平成27年4月	都市デザイン 生活環境設計製図 都市環境設計製図 環境デザイン演習 A 建設マネジメント 環境デザイン演習 B 環境システム基礎製図 環境カルテ演習	専任	准教授	佐久間 康富	平成29年4月	都市デザイン 都市環境設計製図 環境デザイン演習 A 環境システム基礎製図 環境カルテ演習			平成28年4月他大学へ転出 平成28年度は、「都市デザイン」を兼 任で担当 (28) 担当していた科目は、他に担当できる 教員がいるため支障はない。
専任	准教授	山本 祐吾	平成27年4月	環境情報演習 地域環境解析演習 環境科学演習 環境数理 A 地域環境システム 環境計測評価法 I								
専任	准教授	松井 徹	平成27年4月	材料力学 熱力学 流体力学								
専任	准教授	丸 典明	平成27年4月	コンピュータ工学 ロボット工学 ロボットビジョン								
専任	准教授	陳 謙	平成27年4月	イメージ情報処理 メディアデザインセミナー I メディアデザインセミナー II コンピュータビジョン								
専任	准教授	松田 憲幸	平成27年4月	人工知能 知能システム演習 知能情報学演習 アルゴリズム演習 I								
専任	准教授	村田 頼信	平成27年4月	デジタル回路 電子計測研究実習								
専任	准教授	満田 成紀	平成27年4月	プログラム設計技法 社会情報学セミナー I 社会情報学セミナー II アルゴリズム設計 ウェブデザイン演習 ソフトウェアエンジニアリング演習								
専任	准教授	宇野 和行	平成27年4月	物性電磁気学 I 物理学実験 固体物理学 物理学演習 応用物理学特論 応用物理学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語 B								
専任	准教授	林 聡子	平成27年4月	基礎化学実験 有機化学 II 化学演習 有機理論化学 化学特論 応用化学実験 科学技術英語 B								
専任	准教授	大須賀 秀次	平成27年4月	有機化学 I 化学演習 有機合成化学 化学特論 応用化学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語 B								
専任	准教授	河崎 昌之	平成27年4月	建築概説 住環境設計製図 生活環境設計製図 都市環境設計製図 環境デザイン演習 A 建設マネジメント 環境デザイン演習 B 環境システム基礎製図 環境計測評価法 II								
専任	准教授	福安 直樹	平成27年4月	プログラム設計技法 社会情報学セミナー I 社会情報学セミナー II ウェブデザイン演習 ソフトウェアエンジニアリング演習								
専任	講師	宮部 真衣	平成27年4月	メディアデザインセミナー I メディアデザインセミナー II デザイン情報総合演習 ヒューマンインタフェース								平成29年4月他大学へ転出 (29) 担当していた科目は、他に担当できる 教員がいるため支障はない。
専任	講師	鈴木 新	平成27年4月	システム工学 組込みシステム								

専任	講師	川角 典弘	平成27年4月	デザイン基礎概論 デザイン表現演習 メディアデザインセミナーⅠ メディアデザインセミナーⅡ インテリアデザイン論 CAD演習 デザイン情報総合演習							
専任	助教	三浦 浩一	平成27年4月	知能システム演習 知能情報学演習 情報システム実験							
専任	助教	西村 竜一	平成27年4月	メディアデザインセミナーⅠ メディアデザインセミナーⅡ サウンドプログラミング演習 デザイン情報総合演習							
専任	助教	伊藤 淳子	平成27年4月	情報システム開発演習 社会情報学セミナーⅠ 社会情報学セミナーⅡ デザイン情報総合演習							
専任	助教	幹 浩文	平成27年4月	計測システム実験A 電気回路演習		講師					平成27年10月講師に昇進 (27)
専任	助教	谷口 正伸	平成27年4月	生態環境実験実習 水環境実験実習 環境情報演習 地域環境解析演習 水理学 環境科学演習							
専任	助教	小田 将人	平成27年4月	物理学実験 物理学演習 応用物理学特論 応用物理学実験 マテリアル科学実験 科学技術英語B		講師					平成29年4月講師に昇進 (29)
専任	助教	菊地 邦友	平成27年4月	計測システム実験A 電子計測研究実習 微分・ベクトル解析演習							
専任	助教	村上 俊也	平成27年4月	自主演習							平成27年11月退職 (27) 担当していた科目は、他に担当できる 教員がいるため、支障はない。
専任	助教	新 史紀	平成27年4月	自主演習							平成28年2月他大学へ転出 (27) 担当していた科目は、他に担当できる 教員がいるため、支障はない。
専任	助教	松井 淑恵	平成27年4月	自主演習							
専任	助教	徳田 献一	平成27年4月	機械電子制御実験 機械電子制御研究実習 情報処理応用		講師					平成29年4月講師に昇進 (29)
専任	助教	松延 拓生	平成27年4月	デザイン制作 デザイン基礎概論 デザイン表現演習 人間工学 メディアデザインセミナーⅠ メディアデザインセミナーⅡ ウェブデザイン演習 デザイン情報総合演習 ヒューマンインタフェース							
						専任	准教授	坂本 隆	平成28年10月	基礎生命科学 生命科学	
						専任	講師	宮崎 淳	平成28年4月	電子回路Ⅱ 光エレクトロニクス 計測システム	
						専任	講師	土橋 宏規	平成29年4月	制御系設計 機械電子制御研究実習 複素解析演習	
						専任	講師	八谷 大岳	平成29年4月	人工知能 知能システム演習 知能情報学演習	
						専任	助教	最田 裕介	平成28年4月	計測システム実験A 微分・ベクトル解析演習	
						専任	助教	田内 裕人	平成28年4月	環境水理学 リスクマネジメント 環境テクノロジー演習Ⅰ 環境モデリング演習Ⅰ 環境デザイン演習Ⅰ 環境テクノロジー演習Ⅱ 環境モデリング演習Ⅱ 環境デザイン演習Ⅱ 地域環境解析演習	

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
33 名	17 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
29	36	4	10	79	33	31	8	9	81	32	31	8	8	79
(33)	(32)	(3)	(13)	(81)						[3]	[Δ5]	[4]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	足立 啓	選択	建築計画	①	定年退職のため辞任 (28)			
2	教授	島田 哲夫	必修	情報システム開発演習	①	定年退職のため辞任 (29)			
3	准教授	小川 宏樹	選択	都市デザイン	①	他大学への転出のため辞任 (28)			
			必修	生活環境設計製図	①				
			必修	都市環境設計製図	①				
			選択	環境デザイン演習A	①				
			選択	建設マネジメント	①				
			選択	環境デザイン演習B	①				
			必修	環境システム基礎製図	①				
4	講師	宮部 真衣	必修	メディアデザインセミナーⅠ	①	他大学への転出のため辞任 (29)			
			必修	メディアデザインセミナーⅡ	①				
			必修	デザイン情報総合演習	①				
			選択	ヒューマンインタフェース	①				
5	助教	村上 俊也	選択	自主演習	①	退職のため辞任 (27)			
6	助教	新 史紀	選択	自主演習	①	他大学への転出のため辞任 (27)			
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
6	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
6	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任があった場合は、引き続き当該教員が兼任教員として担当するか他の専任教員が代わって担当することとしており、教育の質が低下しないよう努めている。学生への周知は、時間割表、履修手引への記載のほか、教育サポートシステム等により周知徹底を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<システム工学部 システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p><修了要件単位数></p> <p>以下の要件を満たし教養科目、基礎科目、メジャー科目、自由選択科目、卒業研究を合わせ、132単位以上を取得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教養科目32単位以上 2. 基礎科目22単位以上 3. メジャー科目62単位以上 <p>(1) 第1メジャーが指定するすべての必修を含む32単位以上</p> <p>(2) 第2メジャーから16単位以上</p> <p>(3) (1)、(2)以外の科目から14単位以上(専門選択科目を含む)</p> <p>4. 自由選択科目8単位(他学部開講科目を含む)</p> <p>5. 卒業研究8単位</p>	<p>設置完成時に向けて、ほぼ計画どおり順調に授業科目を開講し教育研究指導を実施している。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <ol style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 全学教務委員会の下に授業評価・改善推進部会(「全学FD委員会」)、システム工学部FD委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 全学FD委員会を3回開催、それにあわせてシステム工学部FD委員会も開催 c 委員会の審議事項等 ②実施状況に審議事項等を記載 <p>② 実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生自治会との意見交換 ・ 各教員による「FD活動報告書」の作成 ・ 学生への専門科目に対する授業アンケート 等 b 実施方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学FD委員会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業の開発に関すること。 (2) 公開授業に関すること。 (3) 授業評価に関すること。 (4) 授業改善に関すること。 (5) 教員の授業研修に関すること。 (6) その他FDに関すること。 2. 学部FD委員会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業評価アンケートに関する事項 (2) 授業進行中の学生からの意見受付に関する事項 (3) 1年生教育に関するシンポジウムに関する事項 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業評価アンケートの実施ととりまとめ 2. 授業評価アンケートの自由記述欄に対する教員からの返事としての「コメント返し」の取りまとめと公開 3. 授業進行期間中における学生からの授業への要望・意見の受け入れ 4. 「1年生教育に関するシンポジウム」の開催を通じて、学部共通教育化された1年生教育の内容と成績等の情報共有と意見交換の実施 5. 「グッドプラクティス」として優れた教育的取り組みの選出 6. 全学FD研修会への参加
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 授業評価アンケート結果の分析をもとにした授業内容や授業方法の改善
2. 各授業がもつFD改善の個別事項を抽出すると共に、授業方法そのものについての理解を学生に求める双方向的なFD改善活動の実施
3. リアルタイムに授業改善を行うことによる、学生にとってより有益な形でのFD活動の実施
4. 学部内で「基礎科目」として共通化された1年生教育と各メジャー配属後の「メジャー科目」の接続を円滑にし、メジャー科目が抱えるであろう課題の事前認識と対策の実施
5. 大学教育をより開かれた形で地域に公開し、地域に根ざす大学としての存在感の拡大
6. e-ラーニングやアクティブ・ラーニング、学生に対する対応の実践実例等の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートを、前期期末に1回、後期期末に1回、年間計2回実施した。実施は「教育サポートシステム」の「授業評価アンケート」機能を用いて実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「教育サポートシステム」によって収集した学生からの授業評価アンケート結果は、リアルタイムに教員がその内容を確認することができる。2009年度以降は、アンケート終了後に、その結果を取りまとめるWebページを別途用意し、各教員が学生からの評価結果を遺漏なく確認できる体制を整えている。

システム工学部では学生からの授業評価アンケート結果のうち、特に「(授業の)良かった点」「(授業の)改善すべき点」を指摘する自由記述欄の内容を重視している。授業評価アンケート実施終了後に、これらの自由記述欄に対する教員からの返事を「コメント返し」という形で取りまとめ、教員および学生から閲覧できるよう、Webページで公開している。「コメント返し」については、自由記述欄に記述のあった授業についてはすべての教員からの返事が寄せられている。記述のなかった授業についても、教員からのメッセージとして評価内容に対するコメントが寄せられている。こういった対話的な授業改善の方法を2011年度から継続的に実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育課程については変更なく開講・実施しており、教員組織についても当初の計画通りに編成・維持している。入学者選抜、施設・設備等についても設置計画通りに実施し、現時点において達成状況は良好である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成31年5月 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書(電子ファイル)を作成し、大学ホームページに公開予定(平成31年5月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 6月 日予定)